

動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年10, 11月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物						副作用等発現の概要及び転帰						
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	既往歴	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
“京都微研” 牛コロナワクチン (牛コロナウイルス感染症(油性アジュバンド加)不活化ワクチン) (株)微生物化学研究所 製造番号: 8	牛 ホルスタイン	雌	4歳	健康	/	/	1.0mL, 筋肉内注射	平成17年 10月5日	/	平成17年 10月6日	流産 平成17年7月9日に人工授精したホルスタイン成乳牛における流産	無処置	回復
《企業の意見及び対応》 ・担当獣医師: ワクチンによる反応と考える。 ・企業: ワクチン接種24時間後に流産が認められていることから、ワクチン接種が原因となったことを否定できない。しかし、これまでに本製剤による流産はほとんど報告されていないことから本製剤の性質とは考えられない。 ・対応: 今後も同症例の情報収集に努める。													
フェロボックス5 (猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合・猫白血病・猫クラミジア感染症混合不活化ワクチン) 共立製薬(株) 製造番号: 223229A	猫 短毛雑種	雄	1歳	健康	平成16年9月9日, 平成16年11月18日 フェロボックス5	平成16年9月9日 耳ダニ駆除	1ml (1バイアル), 皮下注射	平成17年 11月28日	/	平成17年 11月28日	虚脱, 吐血 注射前の健康診断で特に異常は認められなかったため、平成17年11月28日18時45分頃本剤を注射した。院内にて20分程度観察した後帰路についたが、帰宅途中に虚脱・吐血し病院に引き返した。病院への到着時(19時10分頃)には心臓停止, 呼吸停止, 対光反射なしの状態であった。すぐに気管挿管し, ボスミン投与, 心臓マッサージを施したが回復せず, 19時30分頃に死亡を確認した。	治療 ボスミン投与, 心臓マッサージ, 酸素吸入	死亡
《企業の意見及び対応》 ・担当獣医師: ワクチンによるアナフィラキシーショックと考えられる。原疾患なく栄養状態も普通で、接種後の休憩中も変わった様子はなかった。他の原因は見当たらない。 ・企業: 当該猫は前年に本剤を2回注射しているが、その際には異常は認められなかった。注射前の健康状態は良好であったこと、注射後の比較的短時間に虚脱, 吐血が認められていることから、本剤によるアナフィラキシー反応であった可能性があると考ええる。 ・対応: 今後も関連安全性情報の収集に努め、必要に応じて注意喚起等の対応をしたい。													

家畜衛生週報 (No. 2916, 2918) より